



## 運動会を終えて

校長 瀬戸 隆幸

5月27日(土)は、前日までの雨が心配されましたが、無事に運動会を実施することができました。早朝より、会場準備のお手伝いをさせていただきました保護者・地域の皆様には、心より感謝申し上げます。当日は朝から雲に覆われ、一日をとおして強い日差しが照りつけることもなく、子供たちは元気いっぱい競技や演技を行うことができました。ご来賓の皆様をはじめ、多くの保護者・地域の方々にもご来校していただき、子供たちの頑張っている様子をご覧いただきました。また、温かいご声援を送っていただき、誠にありがとうございました。保護者・地域の皆様にとっても、それぞれ心に残っている場面があるのではないのでしょうか。以下に、私が印象に残っている場面を学年ごとにご紹介いたします。

- 1年生・・・「50メートル走～われらピカピカの1年生～」では、どの子も力強くゴールまで走り抜けることができました。2か月前まで幼稚園や保育園に通っていたことを考えると、その走り方はとても立派でした。
- 2年生・・・「イロトリドリ」の演技では、とても明るい笑顔で踊っていました。一人一人が演技を楽しんでいる様子が感じられ、1年生をリードしながら元気に踊ることができました。
- 3年生・・・「その勝負ちょっと待った!!」では、力の限り綱を引き、「援軍」が来るまであきらめずに頑張っていました。最後まで勝負をあきらめない姿や仲間を助けるために全力で走る様子なども素晴らしかったです。
- 4年生・・・「Infinity～松林ソーラン2017～」では、昨年の経験もあり、ダイナミックでリズムに乗った踊りができました。手を伸ばすところ、腰を落とすところ、大きくポーズをとるところなど、体全体を使って表現できました。
- 5年生・・・「騎馬戦～松林火山紅白合戦～」では、上に乗る人の重さに耐え、必死に戦う姿や仲間と協力して相手を挟み撃ちにする作戦を考えた頭脳戦など、見どころ満載でした。また、長い勝負の間、太鼓をたたき続けた子の姿は、仲間の士気を鼓舞しているかのようでした。
- 6年生・・・「仙台すずめ踊り2017」では、昨年の経験を活かし、5年生をリードしながら演技していました。集団行動の場面では、きりっとした表情ときびきびとした動きが素晴らしかったです。最後の表情も「やり遂げた!」というのがよく伝わってきました。

当日は肌寒ささえ感じる気温でしたが、子供たち一人一人が最後まで全力で頑張りました。結果としては赤組が優勝しましたが、白組も含め全員の顔に「やり切った満足感」が見て取れました。それは、一人一人がめあてをもって練習に取り組んだからです。お互いに教え合い、励まし合うなど、みんなと一緒に取り組んだからです。そして、自分なりに力を出し切ったからです。見事に「最後までやり切る運動会」「仲間と助け合う運動会」「学び合う運動会」となりました。

学校では、これからも学校行事だけではなく様々な学習や体験をとおして、達成感や満足感を子供たちにもたせていきたいと考えています。このことは、子供たちの意欲を高め、自他を大切にしたり、困難なことにも打ち勝とうとする態度が身に付いたりするなど、子供たちの心の教育にもつながるからです。保護者・地域の皆様には、今後とも本校の教育活動に、ご理解とご協力をいただけますようお願いいたします。